

令和6年度 全国学力・学習状況調査 結果報告

羽曳野市立西浦東小学校

1. はじめに

令和6年4月18日(木)に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る目的があります。また、学校においても、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる目的があります。そこで、以下にその結果をご報告し、改善に向けて今後の方向性を示すことができたらと思います。なお、今回お知らせする結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

2. 学力調査の結果より

1. 国語から分かった本校の成果と課題 ○成果 ▲課題

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類し、関係付け、伝えたいことを明確にすることができる。
- 文の中における主語と述語との関係を捉えることができる。
- ▲人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
- ▲日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。

【今後の改善事項】

- ☆物語や文学作品に触れることで、豊かな表現を味わうことや心情を考察する体験を増やす。
- ☆各学年において読書タイムの推奨や読み聞かせなど、様々な読書活動の充実を図る。

2. 算数から分かった本校の成果と課題 ○成果▲課題

- 直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解している。
- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できる。
- ▲速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できる。
- ▲簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、分類整理することができる。

【今後の改善事項】

- ☆複数の変化する数量の関係をもとに予想を立て、自分の考えを書く経験を増やす。
- ☆提示されたデータの扱い方などに注意し、様々な方面からデータを分析する経験を増やす。

3. 学力向上にむけて

① 基礎学力の定着

基礎・基本の定着には、継続して繰り返し取り組む事が大切です。西浦東小学校では、タブレット内のアプリ「ドリルパーク」を活用し、既習計算問題や漢字学習を中心に繰り返し練習をしています。地道な反復練習を続けていくことに、今後も学校全体で取り組んでいきます。

② 読書活動の推進

「朝の読書タイムの充実」「図書館司書による書籍の紹介、読み聞かせ」など、読書が身近になる学校生活を送ることが出来るように、さらに工夫をして行きます。

③ 授業改善

校内で各教科等の指導方法を研究し、持続性をもって取り組んでいきます。また、「子どもが主体的に学びを深める授業づくり」と「個別最適な学び」（個に応じた指導）（ICT 環境の活用）に重点をおき、授業づくりに取り組んでいきます。現在もそれぞれの教科に応じて、『一人で考える時間』と『話し合い活動』を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」（協動的な学び）を実現する授業展開に取り組んでいます。「要約、説明、論述、話し合い等の言語活動」や「データを言葉と数を使って表現する活動」においても、子どもたちが「やりたい」と意欲的に取り組めるような課題を設定し、やる気を引き出せるよう授業改善を継続していきます。

3. 児童質問紙より

1. これからも維持していきたい項目

- 携帯電話・スマホやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。
- 学校に行くのは楽しいと思う。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが多い。
- 学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用し、楽しみながら学習することができている。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合う活動に取り組んでいる。

☆上記の項目は、大阪府や全国と比べて割合が高い、いくつかの例です。ここでは、多くの子どもたちが安心・安全な日常生活を送ることが出来ていることが窺えます。また、ICT 機器の活用や友達と意見交流する場面で楽しく学習活動に取り組んでいることがわかります。

2. 今後の課題と考えられる項目

- ▲地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- ▲授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる。
- ▲授業や学校生活では、周りの人の考えを大切にして、協力しながら課題解決に取り組んでいる。

☆自身の有用感が高まるように、「できたを感じる場面」「ありがとうと言ってもらえる場面」を想定した活動にさらに取り組んでいきます。また、学んだことを実生活に活かしてみたいと感じる体験型学習の機会を増やしていきます。

その他、児童質問紙よりわかったこと

- 朝食は毎日食べていると回答する児童が多いことや、学校が楽しい、幸せに感じると回答した児童が多いことから、学校を含む多くの大人たちから大切にされていることがわかります。
- スマホやICT 機器の約束を守っていると回答した児童が多いことから、デジタル時代に向けた成長が出来ていることがわかります。
- 「将来の夢や希望」「人の役にたつ」などの項目ではやや低い数値になっています。やりがいのある職業観、明るい未来像を具体的に持てるようにキャリア教育、道徳の時間の充実にとさらに取り組んでいきます。

4. おわりに

☆早寝・早起き・朝ごはん ☆ゲームをするときや携帯電話の使用についての家庭内ルール
☆自学自習の環境（家庭学習をする環境） ☆家読（うちどく）
☆子どもへの問いかけや話し合いの時間の確保 ☆行事への積極的な参加

上記の生活習慣に関する内容については、学力向上にも関係があります。引き続き、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

家庭で行う学力向上のための行動

以下は、「家庭で行う学力向上のための行動」です。
ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

1. 早寝早起きの習慣が付くようにお願いします
2. 朝ご飯は、毎日食べるようにしてください
3. 適度な運動で体力をつけ、健康を意識した生活習慣をお願いします
4. ゲームや携帯電話の使用について、家庭でルールを決めてください
5. スキンシップを大切に、子どもの目を見て話をしてあげてください
6. 本の読み聞かせの機会を増やしてあげてください